

5 事業構成I ～連続立体交差事業～

連続立体交差事業の概要

1. 連続立体交差事業とは・・・

連続立体交差事業（鉄道高架事業）は、鉄道を高架化（橋梁化）して交通渋滞や事故の原因となっている踏切を除却することにより、鉄道を挟んだ両側の地区を結ぶ複数の道路を一挙に整備していく都市計画事業です。

2. 連続立体交差事業の効果

この事業では、交通安全上の効果だけでなく、まちづくりにおける大きな効果も期待できます。

◆交通の安全性向上

道路と鉄道を完全に分離することにより、道路交通、鉄道輸送それぞれの安全性が向上します。

◆交通の円滑化

踏切での交通渋滞が解消されます。

◆まちの発展

鉄道で分断されていた南北市街地相互の往来が自由になることから、市街地の一体的な発展が可能となります。

また、この事業と土地区画整理事業を一体的に実施することにより、都市の再生、活性化をより一層推進することができます。

◆利便性の向上

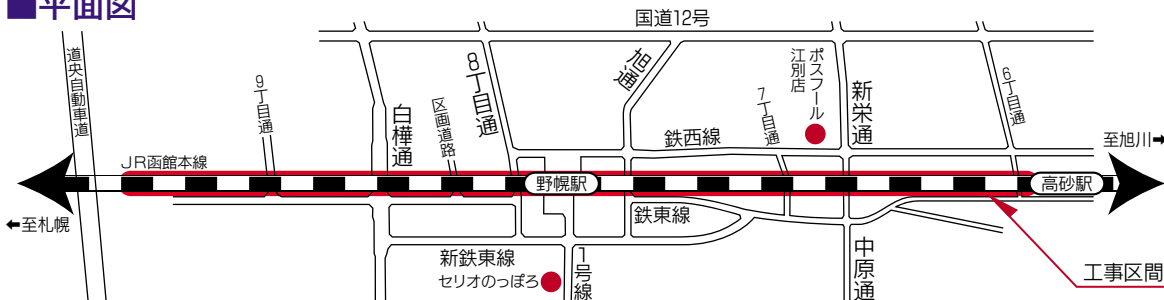
高架下に新しく生み出される空間を多目的に有効活用することで、便利な街としての新しい可能性がひろがります。

また、交差道路の整備により駅へのアクセスも向上します。

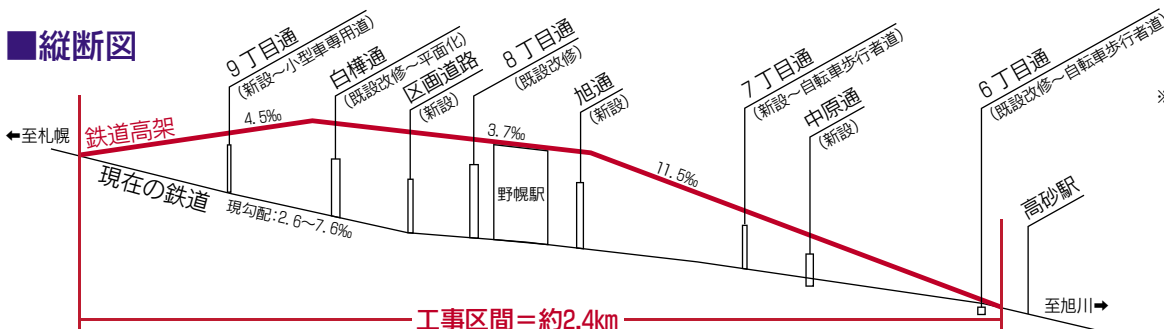
3. 計画概要

事業名	JR函館本線（野幌駅付近）連続立体交差事業		
事業主体	北海道	事業期間（予定）	平成17年度～平成22年度
事業延長	約2.4km	除却される踏切	8丁目踏切、6丁目踏切

平面図



縦断図



※鉄道の縦断勾配は、‰（パーミリ）という単位を用います。
1‰は1000m進むと1m上下するという勾配で、縦断図中、札幌側の勾配4.5‰は江別方向に向かって1000m進むと線路が4.5m高くなるという勾配を表しています。

